

ひろしま し きむらつね
広島市 木村恒氏旧蔵文書 仮目録

広島県立文書館

平成28年(2016)3月

凡 例

1 本目録には、広島市 木村恒氏旧蔵文書を掲載した。

2 目録の各項目は以下のとおり。

請求番号 本文書群の群番号(200602)と、この項目の記号を組み合わせたものが請求記号になる。

【例】 1/1 200602 / 1 / 1

表 題 資料に原表題のあるものはそのまま採り、ないものは適宜付与し〔 〕書きで表記した。内容等で補記すべきものがあれば()で補った。集合形態をした資料の内訳を示す場合には、頭に“○”を付けた。

年 代 資料に記された作成年月日を採用し、推測した場合は()書きで表記した。

作 成 資料に授受関係のあるものは で結んで表記した。

形 態 資料の形態を記した。

数 量 資料の点数を記した。

3 文書の排列は請求記号順とした。

4 利用の参考のため、本文書群の概要を冒頭に付した。

【文書群概要】

ひろしまし きむらつね
広島市 木村恒氏旧蔵文書（請求記号 200602）

広島市京橋町の豪商、保田家（縄屋分家「新宅」）に伝来した文書。

- 出 所 やすだ
保田家（縄屋分家「新宅」）
- 出所地名 広島城下新町組京橋町 / 広島区京橋町 / 広島市京橋町 / 広島市南区京橋町 [現在]
- 旧支配 広島藩領
- 役職等 広島城下新町組稲荷町西組・京橋町年寄、広島第百四十六国立銀行頭取、広島銀行頭取など。
- 分量 15点（6袋，2綴，1括，4冊，2通）
- 収蔵までの経緯 昭和48～49年（1973～74）頃，原蔵者より個人に譲渡。平成18年（2006）5月8日に譲渡を受けた個人が広島県立文書館に寄贈。
- 年 代 幕末～昭和14年（1939）
- 歴史（沿革／履歴等） 木村恒氏は，愛媛県西条出身。同地の第百四十一国立銀行で頭取を勤めた木村幾久太郎家に生まれた。その後，明治期広島の代表的な資産家で広島銀行取締役を勤めた保田八十吉の孫にあたる保田七兵衛氏の妻となり，広島市段原山崎町にあった保田八十吉の別宅に居住していた（七兵衛氏の父大吉は，尼子家から婿養子として保田八十吉の次女と結婚）。文書は全て，嫁ぎ先である保田家に伝来したものと考えられる。
- 内 容 文久3年（1863）に広島藩沿岸に設置された砲台など海防施設の位置を示した「広島藩海防絵図」，八十吉の辞令・賞状類，心得書，保田七兵衛から仲蔵への酒造業継承手続きに関する書類（文書番号7），書類目録，系譜類など
- 関連資料 広島市・保田八十吉文書（199504），広島市・保田家文書（199603），安芸国広島城下京橋町・保田（義郎）家文書（199808）
- 参考文献 広島県立文書館平成17年度収蔵文書展『京橋町・保田家文書展 広島城下商家の活動と文化』，『文書館だより』29号（表紙），平成22年度収蔵文書展『激動の時代 幕末維新の広島と古文書』
- 検索手段 「広島県立文書館収蔵文書仮目録」

（2016. 2. 2記述 / 西村 晃）

番号	表題	年代	作成	形態	数量
1	〔幕末広島藩海防絵図入袋〕 表に「贈呈 広島県山林会」と印刷				袋 1袋(1巻,1通)
1/1	○〔幕末広島藩海防絵図〕 元は折畳み袋に入っていたが、補修して卷子とした。				卷子 (1巻)
1/2	○〔天下一品ナル此ノ図面由来〕				罫紙 (1通)
2	賞状改済之分				袋 1袋
2/1	○謝状(広島招魂祭賛助金御寄附二付)	明治32. 9.30	広島招魂祭委員長江木千之 Ⓜ 保田八十吉殿		一紙 (1通)
2/2	○〔天照大御神々殿建築寄附二付賞 佩送付状〕	明治22. 5.11	神宮教本部祭典課Ⓜ 保田 八十吉殿		一紙 (1通)
2/3	○日本赤十字社広島支部副長三橋勝 到書翰(凱旋軍隊着発送迎ノ為メ 広島駅・宇品港へ御出張二付乗車 料送付)	明治39. 4.28	日本赤十字社広島支部副長 三橋勝到 商議員保田八十 吉殿		一紙 (1通)
2/4	○第五師団長陸軍中将木越安綱書翰 (臨時招魂祭へ御供物御寄贈二付 感謝状)	明治39. 3.30	第五師団長陸軍中将木越安 綱 保田八十吉殿		一紙 (1通)
2/5	○〔別格官幣社藤島神社奉遷会へ寄 附二付感謝状〕	明治33. 5.31	藤島神社奉遷会々長松平康 荘Ⓜ 広島市京橋町保田八 十吉殿		一紙 (1通)
2/6	○寄贈品受領証(患者用物品寄贈買 料) 第八三三号	明治38. 7. 1	広島予備病院長大西亀次郎 Ⓜ 保田八十吉殿		一紙 (1通)
2/7	○歩兵第四十一聯隊長杉村愿簡書翰 (当師団臨時招魂祭施行の節金品 寄贈二付感謝状)	明治39. 4. 5	歩兵第四十一聯隊長杉村愿 簡 保田八十吉殿		一紙 (1通)
2/8	○謝状(広島招魂祭賛助金寄附二付 謝状)	明治29. 5.20	広島招魂祭委員長大島義昌 Ⓜ 保田八十吉殿		一紙 (1通)
2/9	○謝状(広島招魂祭賛助金寄附二付 謝状)	明治31. 5. 6	広島招魂祭委員長真鍋斌Ⓜ 保田八十吉殿		一紙 (1通)
2/10	○謝状(広島招魂祭賛助夏橙寄附二 付謝状)	明治30. 5.10	広島招魂祭委員長大島義昌 Ⓜ 保田八十吉殿		一紙 (1通)
2/11	○謝状(広島招魂祭賛助金寄附二付 謝状)	明治34. 9.30	広島招魂祭委員長江木千之 Ⓜ 保田八十吉殿		一紙 (1通)
2/12	○謝状(広島招魂祭賛助金町内連帯 寄附二付謝状)	明治29. 5.20	広島招魂祭委員長大島義昌 Ⓜ 京橋町御中		一紙 (1通)
2/13	○〔別紙当選状送付二付添書〕	明治38. 3.28	真宗崇徳教社 保田八十吉 殿		一紙 (1通)
2/14	○〔保田八十吉氏ヲ日本赤十字社正 社員二列ス〕	明治21.10.28	日本赤十字社総裁彰仁親王 Ⓜ・日本赤十字社長佐野常 民Ⓜ		一紙 (1通)
2/15	○〔保田八十吉氏金寄贈二付謝状〕	明治22. 7.26	日本赤十字社総裁彰仁親王 Ⓜ・日本赤十字社長佐野常 民Ⓜ		一紙 (1通)
2/16	○土方久元・東久世通禧・徳大寺実 則・伊達宗城連署書翰(国光ノ趣 意書二賛同署名依頼)	明治24.12.22	土方久元・東久世通禧・徳 大寺実則・伊達宗城 保田 八十吉殿		一紙 (1通)
2/17	○神宮奉斎会寄附行為	(明治37. 1.28)	(神宮奉斎会)		整版 (1部)
2/18	○〔平安遷都千百年記念祭及第四回 内国勸業博覧会へ醸出金感謝二付 記念章牌贈与状〕	明治28. 5.13	広島賛同協会会頭鍋島幹Ⓜ 保田八十吉殿		一紙 (1通)
2/19	○〔広島高等師範学校校友会地理歴 史参考品展覧会へ出陳二付謝状〕	明治38.11. 7	広島高等師範学校校友会長 北条時敏 保田八十吉殿		一紙 (1通)

番号	表題	年代	作成	形態	数量
2/20	○真宗信徒生命保険株式会社社長小西新右衛門書翰(本社広島出張所評議員請嘱依頼)	明治31. 5.	真宗信徒生命保険株式会社社長小西新右衛門 [㊤] 保田八十吉様	一紙	(1通)
2/21	○〔安芸国教学資本取締係依頼仮状〕	明治15.10.29	広島教務所 [㊤] 保田八十吉	一紙	(1通)
2/22	○〔神宮奉斎会協賛委嘱状〕	明治37.12.25	神宮奉斎会副総裁二条基弘 [㊤] ・会長藤岡好古 [㊤] 保田八十吉殿	一紙	(1通)
2/23	○国光協賛趣意書	明治23. 6.	国光社	整版	(1部)
2/24	○謝状(寄附金二付謝状)	明治32.12.25	和気会長鷹司熙通 [㊤] 保田八十吉殿	一紙	(1通)
2/25	○〔第五師団追弔法会収納係嘱託状〕	明治39. 3.10	安芸教区管事神根善雄 [㊤] 保田八十吉	一紙	(1通)
2/26	○謝状(広島招魂祭賛助金寄附二付謝状)	明治36. 9.30	広島招魂祭委員長徳久恒範 [㊤] 保田八十吉殿	一紙	(1通)
2/27	○謝状(広島招魂祭賛助金寄附二付謝状)	明治31. 5. 6	広島招魂祭委員長真鍋斌 [㊤] 京橋町保田八十吉殿	一紙	(1通)
2/28	○謝状(広島招魂祭賛助神鏡壹個寄附二付謝状)	明治34. 9.30	広島招魂祭委員長江木千之 [㊤] 保田八十吉殿外二名	一紙	(1通)
2/29	○〔真宗崇徳教社翼賛人総代当選状〕	明治38. 3.28	真宗崇徳教社満田了誓 [㊤] 保田八十吉殿	一紙	(1通)
3	諸賞状及諸書付封筒等改済之分除く分			袋	1袋
3/1	○〔修道会封筒〕 中身なし, 封筒表に「拜謝状在中」とあり		修道会 本市京橋町保田八十吉殿	封筒	(1袋)
3/2	○推薦書 中身なし			包	(1包)
3/3	○〔日本赤十字社常議員当選状送付書〕 文面は珣弱版	明治27.12. 5	日本赤十字社広島支部 [㊤] 保田八十吉殿	一紙	(1通)
3/4	○〔紀念章代用徽章送付書〕 文面は珣弱版	明治28.10.11	協賛会広島市委員伴資健 保田八十吉殿	一紙	(1通)
3/5	○〔明治三十七八年戦役救護事業実施二対シ勅語令旨御下賜二付通牒〕 通牒(「日本赤十字社広島支部」野紙に珣弱版文面)と「勅語」(野紙)を4つ折り一括	明治39. 3.10	日本赤十字社広島支部長山田春三 [㊤] 広島支部商議員保田八十吉殿	括	(1括)
3/6	○〔日本赤十字社終身社員資格認定書〕	明治26. 9.18	日本赤十字社長子爵佐野常民 [㊤] 正社員保田八十吉氏	野紙	(1通)
3/7	○日本赤十字社広島支部伴資健書状(特別社員推薦書等持参致させ候) 「日本赤十字社広島市委員部」野紙	明治36.11.13	日本赤十字社広島支部広島市委員長伴資健 [㊤] 保田八十吉殿	野紙	(1通)
3/8	○〔別紙愛知県賞状伝達方二付告達〕 「広島市役所用紙」, 文面は珣弱版	明治27. 3.23	広島市長伴資健 保田八十吉殿	野紙	(1通)
3/9	○〔木盃交付二付第一課へ出頭方通知〕 「広島市役所用紙」	明治26.10. 4	広島市役所 [㊤] 字京橋町保田八十吉殿	野紙	(1通)
3/10	○〔本願寺広島別格別院大修繕二付尽力方依頼状〕	明治39. 4. 5	本願寺広島別格別院大修繕主任伊藤祐覚 保田八十吉殿	一紙	(1通)
3/11	○〔賞勲局ヨリ賞状及銀盃下賜二付当庁へ出頭方告達〕 「広島市役所用紙」	明治37.11. 1	広島市長伴資健 [㊤] 字京橋町保田八十吉殿	野紙	(1通)

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
3/12	○〔陸軍省ヨリ海防費報告書回送二 付送付方添書〕 「広島県」罫紙	明治26.10.20	広島県知事官房 ^印 保田八 十吉殿	罫紙	(1通)
3/13	○〔神宮奉斎会広島本部封筒〕 中身なし		広島市神宮奉斎会広島本部 卯 保田八十吉殿	封筒	(1袋)
3/14	○〔明治廿七八年戦役救護事務尽力 慰勞贈与二付伝達〕 「日本赤十字社広島支部」罫紙, 文面は蒟蒻版, 封筒入	明治29. 8.12	日本赤十字社広島支部長折 田平内 保田八十吉殿	罫紙	(1通)
3/15	○〔本願寺派教務所封筒〕 中身なし	(明治39. 3.21)	広島市寺町本願寺派教務所 市内京橋町保田八十吉殿	封筒	(1袋)
3/16	○〔当部商議員囑託二付伝達書〕 「日本赤十字社広島支部」罫紙, 封筒入	明治45. 3.22	日本赤十字社広島支部長宗 像政 保田八十吉殿	罫紙	(1通)
3/17	○〔神苑会委員囑託二付辞令伝達書〕 封筒入	明治26.12. 4	広島県下神苑会委員長鍋島 幹 保田八十吉殿	継紙	(1通)
3/18	○〔囑託書封筒〕 中身なし		保田八十吉殿	封筒	(1袋)
3/19	○〔広島招魂祭委員封筒〕 中身なし, 封筒裏2箇所「広島招魂祭委員之印」		広島招魂祭委員 保田八 十吉殿	封筒	(1袋)
3/20	○〔広島招魂祭委員長徳久恒範封筒〕 中身なし		広島招魂祭委員長徳久恒 範 京橋町保田八十吉殿	封筒	(1袋)
3/21	○〔親展封筒〕 中身なし		保田八十吉殿	封筒	(1袋)
3/22	○〔広島招魂祭委員封筒〕 中身なし		広島招魂祭委員 京橋町保 田八十吉殿	封筒	(1袋)
3/23	○〔広島招魂祭委員封筒〕 中身なし		広島招魂祭委員 保田八十 吉殿	封筒	(1袋)
3/24	○〔広島招魂祭委員封筒〕 中身なし		広島招魂祭委員 京橋町保 田八十吉殿	封筒	(1袋)
3/25	○〔第五師団長陸軍中将木越安綱封 筒〕 中身なし		第五師団長陸軍中将木越安 綱 京橋町保田八十吉殿	封筒	(1袋)
3/26	○〔広島市役所封筒〕 中身なし		広島市役所 本市京橋町保 田大吉殿	封筒	(1袋)
3/27	○〔広島税務署長田中節封筒〕 中身なし		広島税務署長田中節 京橋 町保田八十吉殿	封筒	(1袋)
3/28	○〔広島軍待遇会封筒〕 中身なし		広島軍待遇会 京橋町保田 八十吉殿	封筒	(1袋)
3/29	○〔広島市役所封筒〕 中身なし		広島市役所 本市京橋町保 田大吉殿	封筒	(1袋)
3/30	○〔小西新右衛門封筒〕 中身なし		京都市油小路御前通上ル真 宗信徒生命保険株式会社小 西新右衛門 保田八十吉様	封筒	(1袋)
3/31	○〔日本赤十字社広島支部封筒〕 中身なし, 表に「現金在中」とあり		広島市字国泰寺村日本赤十 字社広島支部 商議員保田 八十吉殿	封筒	(1袋)
3/32	○〔広島市役所封筒〕 中身なし		広島市役所 字京橋町保田 八十吉殿	封筒	(1袋)
3/33	○〔帝国実業協会理事受託部長浅田 嘉助封筒〕 中身なし		帝国実業協会理事受託部長 浅田嘉助 広島市京橋町保 田八十吉殿	封筒	(1袋)

番号	表題	年代	作成	形態	数量
3/34	○〔安芸郡奥海田村長三戸鼎造外六名封筒〕 中身なし	(明治41. 1.11)	安芸郡奥海田村長三戸鼎造外六名 広島市京橋町保田八十吉殿	封筒	(1袋)
3/35	○〔日本海員掖済会呉支部長有馬新一封筒〕 中身なし		日本海員掖済会呉支部長有馬新一 広島市京橋町一〇七番保田八十吉殿	封筒	(1袋)
3/36	○〔台湾総督府民政部蕃務本署長大津麟平封筒〕 中身なし	(大正元.11.18)	台湾総督府民政部蕃務本署長大津麟平 広島市京橋町保田八十吉殿	封筒	(1袋)
3/37	○〔農商務大臣男爵牧野伸顕封筒〕 中身なし	(明治45. 4.11)	農商務大臣男爵牧野伸顕 広島市京橋町一〇七保田八十吉殿	封筒	(1袋)
3/38	○〔農工銀行設立委員召集二付頭方申達書〕 「広島市役所」罫紙,「広島県」封筒入	明治30.10.14	広島市長伴資健 保田八十吉殿	罫紙	(1通)
3/39	○〔鍋島幹封筒〕 中身なし,「広島県用」と印刷あり		鍋島幹 保田八十吉殿	封筒	(1袋)
3/40	○〔広島市役所封筒〕 中身なし		広島市役所 本市京橋町保田八十吉殿	封筒	(1袋)
3/41	○〔伴資健封筒〕 中身なし,表に「記念章代用徽章」とあり	明治28.10.12	伴資健 保田八十吉殿	封筒	(1袋)
3/42	○〔日本海員掖済会封筒〕 中身なし		日本海員掖済会 保田八十吉殿	封筒	(1袋)
3/43	○〔広島市役所封筒〕 中身なし		広島市役所 京橋町保田八十吉殿	封筒	(1袋)
3/44	○〔広島別院封筒〕 中身なし		広島市寺町広島別院 広島市京橋町保田八十吉殿	封筒	(1袋)
3/45	○〔歩兵第十一聯隊補充大隊長和田首五郎封筒〕 中身なし		歩兵第十一聯隊補充大隊長和田首五郎 広島市京橋町百七番地安田八十吉殿	封筒	(1袋)
3/46	○〔広島高等師範学校校友会長北条時敬封筒〕 中身なし		広島高等師範学校校友会長北条時敬 保田八十吉殿	封筒	(1袋)
3/47	○〔帝国海事協会理事長有地品之允封筒〕 中身なし	(明治33.10.19)	帝国海事協会理事長有地品之允 広島市京橋町保田八十吉殿	封筒	(1袋)
3/48	○〔広島招魂祭委員封筒〕 中身なし		広島招魂祭委員 京橋保田八十吉殿	封筒	(1袋)
3/49	○〔東久世通禧親展封筒〕 中身なし	(明治24.12.24)	東京東久世通禧 広島市京橋町保田八十吉殿	封筒	(1袋)
3/50	○〔真宗崇徳教社封筒〕 中身なし		広島県広島市猫屋町二番地真宗崇徳教社 広島市京橋町保田八十吉殿	封筒	(1袋)
3/51	○〔歩兵第四十一聯隊長杉村愿簡親展封筒〕 中身なし		歩兵第四十一聯隊長杉村愿簡 保田八十吉殿	封筒	(1袋)
4	旧記印書抜 当家繰出シ扣 袋表へ「大必用 必用書類 東蔵工納メ有之」と朱書あり			袋	1袋(1冊,3通)
4/1	○心得書之続(家賃方・作得・蔵方心得,店方懸之事,改正など)			罫冊	(1冊)
4/2	○〔明治六年より明治三十九年まで手控・日記など目録〕			一紙	(1通)

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
4/3	〔明治三十三年より大正四年まで書類目録〕			一紙	(1通)
4/4	〔書類目録〕			一紙	(1通)
5	〔保田八十吉殿宛封筒〕			封筒	1袋
5/1	○謝状(明友社へ十七年間名誉職として尽力二付キ謝状及び木盃巻個目録)	明治32. 8.	明友社 保田八十吉殿	包	(1包)
5/2	○〔日本赤十字社へ写真贈付二付依頼〕	明治36.11. 9	日本赤十字社	一紙	(1通)
6	旧記袋入番号扣 当家繰出し 袋表に「大必用 必用書類 東蔵工納メ有之」と朱書あり			袋	1袋(1綴,4通)
6/1	○〔日記・手扣等文書目録〕	(明治 6~39)		一紙	(1通)
6/2	○〔書類目録〕	(明治11~大正 4)		一紙	(1通)
6/3	○〔保管場所別書類目録〕 「合」印・朱書多数	(明治24~43)		一紙	(1通)
6/4	○〔三十四日間銀山町綿会所二テ売渡候白米覚書〕 6/5の上に重ねて半折	(明治)	字京橋町保田八十吉殿	罫紙	(1通)
6/5	○心得書之続(家賃方之事心得,蔵方之心得,店方懸之事等) 「井原製」罫紙使用	(明治)		仮綴	(1綴)
7	酒造継承重要書類控綴	昭和14. 6.	保田仲蔵	綴	1綴
8	保田家系譜	(~明治34. 1)		豎冊	1冊
9	保田家系譜	(~明治14. 1)		豎冊	1冊
10	〔保田家系譜下書〕	(文化 4. 7 ~明治14. 1)		豎冊	1冊
11	保田氏 系譜御伝記	(明和 7~慶応 3)		豎冊	1冊
12	五代系図			袋	1袋(2綴,6通)
12/1	○〔三上謙吉五代系図〕			一紙	(1通)
12/2	○保田七兵衛五代系図			一紙	(1通)
12/3	○保田富太郎五代系図			一紙	(1通)
12/4	○保田仲蔵五代系図			一紙	(1通)
12/5	○〔伊予国新居郡篠町木村専之助五代系図〕			一紙	(1通)
12/6	○〔木村由松五代系図〕			一紙	(1通)
12/7	○〔石州波佐村三浦要助系譜書類綴〕			綴	(1綴)
12/8	○〔保田家系譜綴〕			綴	(1綴)
13	〔保田系譜〕 B4版の更紙を3枚重ねて半折,ペン書			括	1括(3枚)
14	〔広島市水道敷設・水道公債委員選挙通知〕 「広島市役所」罫紙使用	明治29. 3.21	広島市参事会広島市長佐藤正 [㊦] 保田八十吉殿	罫紙	1通
15	支那米売渡之件(細民救助準備二付通知下書)	明治23. 6.18	広島市役所庶務部	罫紙	1通